

SCOUTING

2021
No.746
11

特集

ユースのカ

世界スカウトユースフォーラム
全国ローバースカウト会議の取り組み

CONTENTS

- 02 第14回 世界スカウトユースフォーラム
- 04 ー第42回世界スカウト会議報告ー
Bridging the World 世界をつなぐ
- 05 全国ローバースカウト会議 (RCJ) の取り組み
- 06 ようこそ先輩!
- 07 教えて先輩!
- 08 スカウティングと SDGs
ー一緒に行動しよう! 持続可能な社会のためにー
- 10 2021年度 スカウトの日
- 11 あなたの小さな行動で、仲間のスカウト活動を
支援できます
ー12月は寄付月間 (Giving December)
- 12 すすめよう! 『任務中の支援』
- 14 ご存知ですか? 救急箱の新常識
ーお互いを守るための提案ー
- 15 スカウティングと信仰
ーBVS、CS への信仰奨励についてー
- 15 信仰奨励
- 16 100周年記念事業
- 18 ローカルホットライン
- 20 維持会員
- 22 新春誌上名刺交換のご案内
- 23 第49回 全国ボーイスカウト写真コンテスト
作品募集
- 24 スカウトショップ

第14回

世界スカウト ユースフォー

163の国と地域から 713人のユースが集合!!



2021年8月18日から22日の5日間、第14回世界スカウトユースフォーラムが開催されました。今回のユースフォーラムは、もともと2020年にエジプトで開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により1年延期され、そして最終的にはオンラインによる開催となりました。

以下、フォーラムに参加した日本派遣団から、各国ユース年代の取り組みや、本フォーラムの提言について報告いたします。

■ 日本派遣団の取り組み

日本派遣団としては、フォーラム開始の1か月ほど前から準備に取りかかりました。各種オンラインツールを活用して日本派遣団の中でコミュニケーションをとり、フォーラムに向けて連携することができました。

準備期間中、フォーラムで議論される内容の理解、日本のスカウティングの実態の把握のほか、自分たち派遣団に何ができるのか、議論を重ねました。その中で、前回派遣団による提言内容の多くが達成されていないと

いう事実に対し、提言をいかに実効的なものにするかが重要であると共通認識を図りました。関係各所との対話を行い、提言の内容がどの程度反映されたかを定期的に評価する仕組みを設けることが大切であると考えます。

次の世界スカウトユースフォーラムは、2024年にエジプトで開催予定です。私たちは、今回のフォーラム参加で得られた成果と反省点をしっかりと日本のユースの仲間と共有し、次の派遣団にも継承する責任があります。その



意味で、我々の役割はこれからが本番といえるでしょう。これらの作業は派遣団だけの力では成し遂げることができません。全国ローバースカウト会議 (RCJ) を母体として、全国のユースと意思疎通をしていく必要があります。

「青少年のための運動を形作るのは青少年自身であるべき」今回のフォーラム参加を通じて、私たちはそのことを再確認しました。日本のスカウティングをより良いものにできるよう、私たちはこれからも取り組み続けます。

ト ーラム



オンライン会議の画面より

■大会概要

期間 8月18日(水)～8月22日(日) 5日間

開催方法 オンラインイベント専用のプラットフォームによる参加

テーマ Bridging the World (世界に橋を架ける)

「Bridging the World (世界に橋を架ける)」には、地球規模の平和と持続可能性を目指して、ユース年代が地域や国境を超えて繋がりを構築するという意味が込められています。

派遣員 荒岡 草馬 [福岡・福岡第19団]、小池 さくら [愛知・日進第2団]

オブザーバ 武田 蒼 [山形・山形市第1団]、俣野 陽 [東京・渋谷第5団]、北村 梨沙 [島根・松江第1団]

参加者 163の国と地域から713人(うち229人が各国の正代表)



各国派遣団としての取り組みのほか、世界各国のスカウトで構成された国際チームでの作業も良い経験です。

■フォーラム運営の様子と海外派遣団

5日間のフォーラムでは、若者の意思決定の場としてユースアドバイザーの選挙やフォーラム宣言と世界スカウト会議の決議案作成に対する修正案の採決が行われました。特にフォーラム宣言と世界スカウト会議の決議案に関しては各国派遣団ではなく、世界各国のスカウトで構成された国際チームでの作業でした。異なる背景をもつ人が集まる中で、意見をまとめることは簡単ではありませんでしたが、とても刺激的な時間となりました。

若者の代表として、世界スカウト委員会に対して助言できるユースアドバイザーの選挙では、スカウト運動への熱意、公約の具体性、地域バランスなどを考慮し、日本派遣団として投票を行いました。わずか一票の差で結果が変わる様子を目の当たりにし、自らが投じる一票の重さと責任を実感しました。

また、コアタイム以外の時間には毎日ワークショップが開かれ、SDGsやジェンダーギャップ、リーダーに必要な素質などを学びました。

世界スカウトユースフォーラムの最終宣言

本提言を通して、私たちは以下を行います

- スカウト活動に関わっているユースの声を統合
- 困難な時代も運動の決定プロセスの一部を担う権限を要求
- 世界でユースが直面する気候変動や紛争による不安定性を認識
- スカウト運動発展のためにユースが評価する展望、決定、規範の共有
- ユースフォーラムでの議論、対話の要旨に留意
- オンラインフォーラムへの記録的な参加者数を祝福(163か国229人)
- 世界スカウト会議参加者の58%がユースであることに注目
- 世界的な決定プロセスに参加するユースの増加に期待
- 本提言が全世界のスカウトを代表し、注目と考慮に値することを認識
- 展望と価値の中核は積極的市民権であることを強調



42nd World Scout Conference
Conférence Mondiale du Scoutisme

14th World Scout Youth Forum
Forum des Jeunes du Scoutisme Mondial
2021

—第42回世界スカウト会議報告—

Bridging the World 世界をつなぐ



会議概要

- 期間 8月25日(水)～8月29日(日) 5日間
- 開催方法 オンラインイベント専用のプラットフォームによる参加
- テーマ Bridging the World
- 参加者 170の国と地域から2,300人(代表団、オブザーバ)
- 日本代表団 水野理事長(首席代表)他代表5人、オブザーバ14人
合計20人(世界スカウトユースフォーラム派遣団5人を含む)

- 主要日程 25日:開会セッション、分科会/26日:ビジョン2023報告、世界スカウト委員候補者紹介/27日:24WSJ等の報告、WOSMサービス、世界スカウト委員選挙結果/28日:会議決議案の賛否投票、新世界スカウト委員長と副委員長の発表/29日:会議決議案の賛否投票、閉会セッション

コロナ禍の中、史上初めてオンライン会議での開催となった、第42回世界スカウト会議。

多くの加盟国が新型コロナウイルス感染拡大の影響で大きな経済打撃を受け、物心両面からの支援が急務であることを確認するとともに、スカウトの安心・安全な活動環境を保障するため、世界レベルでの「セーフ・フロム・ハーム」方針の確実な実施が、直近の最重要取り組み事項であることが決議されました。

一方、2014年に設定した「ビジョン2023」の目標達成に向け、最終評価サイクルとして2021年から2024年の3か年計画が決議されました。主な重点施策としては、班や隊、地区や県連盟、ひいては各国連盟や世界機構のすべてのレベルで、スカウトが意思決定プロセスへ参画することが継続的に実現できるよう施策の実施に取り組むこと、また、地域社会への貢献を含めたスカウト環境教育活動、加えて平和と安全に向けた社会への奉仕と広報活動が採択されました。

世界各国でのスカウト活動の展開は、社会からの信頼の獲得とともに、社会に必要な青少年団体としての認知度向上の鍵です。指導者の皆様および世界のスカウト兄弟姉妹と一致団結し、素晴らしいスカウティングを展開できる環境を整備しようと誓い、5日間におよぶ会議の幕を閉じました。

今回の会議は、世界スカウト機構が開発したオンライン会議システムと電子投票システムが導入されるなど、最新のIT技術が駆使されていました。参加者はこのシステムを通じて、世界スカウト機構憲章および各種世界方針の改定に向けた議論と議決投票のほか、第26回世界スカウトジャンボリー等の世界行事ホスト国の選出、世界スカウト委員選出が行われました。

また、世界スカウト会議に先立ち開催された、第14回世界スカウトユースフォーラムに参加した5人のローバースカウトたちは、引き続き日本代表団メンバーおよびオブザーバの役務に就き、5日間の会議に参加しました。参加したスカウトは、会議期間中の日本派遣団オンライン会議室を通じて、代表団としての意思決定のため活発に意見を交換しました。

次世代のスカウトの皆さんへ

今回の決議の大きな特徴として、「青少年の意思決定プロセスへの参画方針」の確実な実施があげられます。スカウト運動の本質である「成人に支援される青少年の運動」を確実に具現化していこうとする方針です。

世界がコロナ禍で苦しむ今こそ、次世代の社会を担う皆さんが責任ある社会の一員としての自覚をもち、私たちの活動目標である「より良い世界の実現」に向けて、熱い心で自発的に発言し、行動されることを期待します。特にローバースカウトの皆さんが率先して意思決定のプロセスに加わり、更なる飛躍に向けたWOSMの3か年計画の実現に取り組みましょう。

この世界スカウト会議の結果を受け、2022年2月には世界スカウト機構アジア太平洋地域(APR)のスカウト会議とユースフォーラムもオンラインで開催される予定です。各種世界行事に参加した経験のある先輩ローバースカウトは後輩にその熱気と楽しさを伝え、次のAPRスカウトユースフォーラムや世界スカウト会議(2024年エジプト)で世界のスカウトとの再会と成果を祝えるよう、更なる成長を目指しましょう。



国際コミッショナー
嶋田 寛





全国ローバースカウト会議 (RCJ) の取り組み



全国ローバースカウト会議 (RCJ) は、日本連盟に加盟登録している全国の18歳から25歳のローバースカウトおよび指導者で構成されています。

私たちは「この時代を生き抜くチカラ」を獲得することがローバースカウトに必要であると考えます。そのために、ローバースカウトの活動支援と全国規模の事業を提案・実施しています。また、この年代のスカウトの意思を集約し、日本連盟への提言を行うことで連盟の意思決定に参画しています。

今回は、私たちの活動を展開するための「RCJ 3か年計画」について概略をご報告いたします。

■ 直近3か年の報告 (2018年~2020年)

「RCJ3か年目標」により、オンラインのローバーの溜まり場として、MOTI+を定期的で開催することで、地域を超えた交流を図り同世代の交流のプラットフォーム構築を目指しました。6回の開催で169人もの参加がありました。また、ブロックイベントや全国事業を開催し、自発的な活動を行うための環境整備を図りました。ブロックイベントは昨年度、北海道・東北、関東、近畿の3つのブロックで開催され、また、全国事業としてRCJフォーラム2020をオンラインで開催し、109人の参加を得ました。



2018年 RCJ Re: Quest



■ RCJ 3か年計画 (2021年~2023年)

3か年計画の概要は、右表のとおり、ローバー活動活性化のために複数年に渡って取り扱うテーマの一覧で、3年ごとにその評価反省を行い、組織の持続的な発展を確かなものにします。この計画には、情報不足の解消、活動環境の改善、活動機会の提供という3つの大きな柱があります。

「3か年目標」の経緯・評価も踏まえ、「3か年計画」では、オンライン過去最長期間開催となったオンライン大会 (RCJ X) も近いことから、「活動機会の提供」についていいますと、「形態や趣旨に柔軟で幅広い、いわば多様性を認める」という主旨の内容とし、また、「RCJ 構成員が主体となってイベント開催をする」ことを強調することで、より整備された環境で運営し、かつ参加者全員が主体性を持ってイベントを実施することで、RS年代をより活性化していくことを目指します。

今後もさらに3か年計画を基にローバースカウト年代と活動を盛り上げていきたいと考えておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



詳しくは
RCJwebにて!!
<https://rcjweb.jp/>

	テーマ	目標
情報不足の解消	ブランディングと安定化、維持	RCJのブランドを安定させ、それを維持する。
	ローバースカウト運動の可視化	全国のローバースカウト運動を可視化する。
	ローバースカウトのつながり	RCJ 構成員同士のつながり合い、コミュニティ化できるオンラインプラットフォームを構築し、活用される。
活動環境の改善	コミッショナーとの連携	RCJと日本連盟コミッショナーとの連携を維持し、ローバースカウト部門の発展に取り組む。
	常設委員会との連携	RCJと日本連盟常設委員会との連携を強化し、ローバースカウト部門の発展に取り組む。
	各種組織との連携	RCJと海外派遣団や他の青少年教育団体との連携を強化する。
活動機会の提供	全国事業	RCJ 全国事業を継続的に開催し、かつ形態や趣旨に多様性を認めていく。
	RCJ 構成員主体イベント	RCJ ブロックやローバースカウトコミュニティが主体となって、自発的にイベントが開催できるようになる。



東京2020オリンピック 水球 コップ 晴紀イラリオ 選手

プロフィール



1998年12月28日京都府生まれ。長崎県西彼時津町で育つ。2005年、小学校1年生の時に長崎第11団ビーバー隊入隊。2007年、同カブ隊、2010年、同ボーイ隊に上進。

中学3年生までスカウト活動に参加。

小、中学校時代に長崎水球クラブでプレー。祖父がアルゼンチン人のコップは小学6年生の2011年、同クラブの主将として県初の全国大会出場に貢献。時津中3年時の2014年全国JOCジュニアオリンピックカップ春季大会で県で初の準優勝を果たし、優秀選手に選ばれた。高校から埼玉県の強豪、秀明英光高校に進み日体大で力をつけた。2019年の世界選手権では6試合すべてに出場して3得点をあげた。

ようこそ先輩!



ボーイスカウト時代の思い出

入団のきっかけは、親戚のおじさんが、昔、ボーイスカウトとして活動していたことでした。自宅の近くの団を探したところ、長崎第11団を見つけたので、そこで活動を始めました。

多くの活動のことを覚えています。キャンプや相撲大会、クリスマス会や潮干狩りなど、書ききれないほどの経験をさせていただきました。特に印象に残っているのは相撲大会です。たくさん練習して小学4年生で準優勝、5年生で優勝したことは、他では体験できないこととして強く心に残っています。

これらの活動をとおして自然に触れ、多くの友人をもつことができ、健全な心を育てることができたと強く実感していると同時に、このような経験をさせていただいた長崎第11団、田辺隊長はじめ両親、友人に感謝しています。私の人生において間違いなく宝物の一つだと思います。

水球、五輪への思い

水球は、ボーイスカウトと並行して行っていました。2歳の頃からスイミングをしていて、小学2年生の時に体験教室を通じて水球を始めました。チームメイトとのコミュニケーションをとるための力は、ボーイスカウトで培ったものが生きていたと思います。中学校に入り、本格的に水球に打ち込むように

なりました。そしてその頃、オリンピックが東京で開催されることが決まりました。そこから私の夢は東京五輪出場になりました。

高校進学は県外の強豪を選び、大学も同じように進み、夢に向かって走ってきました。そして努力の甲斐あって、この度の東京五輪に出場することができました。ここまでくるのに、語りきれないほど多くの苦悩や挫折を味わいました。しかし、「夢のオリンピックの舞台に立つ」という目標を原動力にして頑張り続けた結果、その夢を叶えることができました。根源には、やはり幼少期からの経験が活かされていたと思います。

今回のオリンピックに関しては、開催に際して賛否両論ありました。このような状況で、成功のために尽力してくれた方々には、感謝しかありません。この経験もまた、ボーイスカウトと並んで、私の人生における宝物になりました。

後輩スカウトへのメッセージ

私は「スポーツは感動を与える」という言葉は大嫌いです。とても上から目線で感動の押し付けのように感じるからです。私はこう思います。

「スポーツに限らず本気で物事に取り組む姿勢は人の心を動かす力がある」

何か一つでも、本気になって取り組める人になってほしいと思います。



教えて先輩!

— 進歩に関する特別措置における取り組み事例 —

各年代における進歩に関する特別措置を2020年5月に講じ、約一年半が過ぎました。例年実施している団や地域の行事などに参加できない、自分たちで企画したハイキングやキャンプが中止になるなど、スカウト活動への支障がある中でも、個人の進歩に向けて取り組んでいるスカウトたちがたくさんいます。前号に続き、今号でもこの特別措置を活用して富士スカウト章を取得したスカウトを紹介します。

1. 自己紹介 (スカウト活動や学業への取り組みについて教えてください)

塚本 傑 (つかもと たける) さん

東京・狛江第1団ローバースカウト・日本大学理工学部1年生

私はスカウト活動が好きですが、楽しく活動できることを優先して、進級にそれほど熱を入れていたとはいえませんでした。ですが、進級の細目に挑戦するだけでも成長にもなると考えたら、取り組むことができました。今では、自分の成長を楽しく感じています。



学校では、情報処理やプログラミングについて学んでいます。将来の夢に向けて、学校での学びの時間も自分の成長につながるものとして、この感染拡大状況下のオンライン学習も楽しんでいきます。

2. コロナ禍で出てきた課題をいかにして達成したのか教えてください

プロジェクトやその他の活動が思うようにできず、気持ちが途切れそうになるときはありましたが、家族や指導者からの応援もあり、少しずつ取り組むことで、なんとかやってこれたと感じています。

緊急事態宣言の影響で、対面での活動が中止となったことにより、いくつかの活動にも影響が生じました。地区や県連盟主催の活動が中止になり、富士スカウト章の細目にある奉仕活動に関する取り組みができなくなってしまいました。ですが、活動に参加するのではなく、自分たちで地区イベントを主催することで、活動場所と奉仕活動の機会を確保することができました。

地区全体を活気づけることを目的として、私が所属する地区設立10周年記念オンラインイベントを企画し、地区内のベンチャースカウトからメンバーを募って運営しました。企画から報告まで1年以上経過してしまいましたが、無事にその目的を達成し、課目も履修することができました。

奉仕の機会がないなら、活動の機会を作ってしまうと立ち上げたプロジェクトで、少し遠回りになりましたが、企画・計画から実行・報告まで、その機会を作ることができたことは、自分にとってかけがえのない経験となりました。



3. この期間で得たことや成長したこと、今後やりたいことを教えてください

私の個人プロジェクトのテーマは、私たちの活動地域で昔から行われてきた「どんど焼き」です。

どんど焼きは、1986(昭和61)年に団行事として実施したことをきっかけに、翌年からは地区のボーイスカウトが協力して実施してきた行事です。1月15日の小正月の前後、地元多摩川の河川敷から刈り取ったカヤを用いて、高さ10mの円すい形の小屋(どんど)を作ります。その小屋に松飾りやしめ縄などの正月飾りを持ち寄り、積み上げて燃やし、一年の無病息災を願うものです。ボーイ年代以上が協力してどんどを作ること、その小屋の中で過ごすことが私たちの団で代々続いてきたプログラムでした。

このどんど焼きの活動が、このコロナ禍で実施できなくなり、「このままでは、伝承が途絶えてしまう」と隊長と相談して、実施できないことをできる形で続けるプロジェクトにしようと考えました。

どんど焼きの歴史から、設計図も含めた作り方、そして多くのスカウトが協力して作り上げる素晴らしさを、後輩スカウトや地域の人々に伝えて、次年度以降の実施につなげようと考えました。最終的には、オンラインでのプロジェクト報告会を開催し、伝承に向けた一歩を踏み出すことができました。

自分のやりたいプロジェクトや活動に対して、大きなサポートを受けられる環境は、ベンチャー年代の特権であり、とても貴重なものであることが分かりました。全国のベンチャースカウトの皆さんも、この支援が貴重であることを念頭におき、自分の実施したい活動に励んでください。



プログラム委員会

スカウティングとSDGs

— 一緒に行動しよう！ 持続可能な社会のために —

前号に引き続き、今号でも新しい環境教育プログラム「Earth Tribe (アース・トライブ)」を紹介しします。スカウトとすべての指導者がプログラムを実践し、地域の課題を見つけて取り組むことがSDGsの達成に繋がります。私たちがなぜ地球のためにアクションを起こさなければいけないのかを考え、Earth Tribeの仲間になって団や隊の活動を活性化させましょう。



太陽のエネルギーを感じよう

もし太陽がなくなれば私たちが凍えてしまいます。また、あたりは暗闇だけでなくどんな植物も育ちません。太陽は私たちが地球で生活する上での真のエネルギー源であります。

しかし私たちはそのエネルギーを活用しきれていません。「持続可能な社会」を実現していく上で、「再生可能エネルギー」を知り、それを活用していくことが必要不可欠です。

自分の周りをよく見渡してみると、活用しきれていないエネルギーがたくさんあることに気づきます。また、私たちが非常に多くのエネルギーを消費していることにも気づくでしょう。Earth Tribeをとおしてスカウトと指導者が「実践的な」経験をもち、そこから学ぶことが重要です。エネルギーチャレンジをきっかけに、エネルギーや資源のことを一緒に考えてみましょう。

【実例】ソーラークッカーを使ってみよう

ソーラークッカーは、太陽光の熱を利用する調理器具で、燃料を使わず、自然の力だけで料理ができる非常にエコな点が特徴です。反射板を使い、太陽光を集めることで100℃近い熱を生み出し、飯盒炊飯や煮込み料理などの調理ができます。



スカウトたちがソーラークッカーを使った、楽しい料理を通じて、自然エネルギーの力や地球資源の大切さについて学ぶことができます。

ソーラークッカーは、一般家庭にあるアルミホイルや段ボール等で簡単に自作することができるため、スカウトがゼロから作ってみるのも面白いかもしれません。普段のキャンプ等の野外活動に組み込んでみてはいかがでしょうか。

Earth Tribeでは、知る、協力する、実行する、の流れで各チャレンジの細目を履修すると、それぞれのEarth Tribeバッジを制服に着用することができます。バッジの取得を目指して、プログラムに取り組んでみましょう。

※ バッジの製作は現在調整中です。販売時期等は別途、ご案内いたします。



静岡・磐田第6団



愛知・日進第1団



わたしたちの地球を守ろう
~Earth Tribe

<https://www.scout.or.jp/member/earthtribe/>

次号は3つ目のプログラム「プラスチックチャレンジ Healthy Planet —健康な惑星」について紹介します。

国際ボランティア・デー

12月5日

International Volunteer Day

毎年、12月5日やその前後に、ボランティア活動を啓発するためのさまざまなイベントが世界中で開催されています。ボランティアの重要性の認識を高めるために活動するよう政府に対して訴える日として、国際連合により1985年に定められた国連デーの一つです。

ボランティアやその組織が果たす社会的役割の大きさを確認し、それを多くの人に広めるとともに、国内外のボランティア活動への参加を促進することが、この国際デーの目的です。この記念日が、草の根的な活動を行うボランティアやNPO、NGO、地域社会や民間企業などと連携して活動するための大切な機会になっています。

近年の豪雨や大洪水といった水害、全国で発生する地震、国内外における貧困など、世界では課題が山積しています。以前から関心は寄せられているものの、日本ではボランティアや奉仕活動への意識が高いとはまだいえません。多くの人に社会貢献活動への理解と参加を促すためにも、国際ボランティア・デーの広がりは意義があります。

日本連盟では、40年以上にわたり、環境美化活動「スカウトの日」を継続してきました。この活動を楽しみにしているスカウトもいれば、応援してくれる団体もあります。すべての活動は、人と人のつながりがあってこそできるもので、手を取り合うことが大切です。

「おきて」の実践として、自分たちができることはないか、今こそ「奉仕」の言葉の意味を振り返ってみてください。

世界の課題に気づき、それらに対してスカウト自らが行動するために、まずは「知る」ことから始めましょう。



<https://www.scout.or.jp/member/international-days/>

どんなプログラムに挑戦できるの？



エネルギーチャレンジ

Clean Energy- クリーンエネルギー

持続可能なエネルギーの選択を探り、取り入れる



最も差し迫った環境問題のひとつが気候変動です。気候変動は、主にエネルギー資源に対する私たちの高い需要によって引き起こされ、それは、エネルギーを生み出すための農業と林業からの副産物をも含みます。この歪みに対して、より良い解決策を見つけ実行する

ためには、すべての人が責任を負わなければなりません。

このチャレンジでは、気候への影響とそれぞれのエネルギー源の使用による影響について振り返ります。そして、気候変動を緩和するための方法の新しい可能性を模索します。

STEP 1

知る

ビーバースカウト 電気はどのように作られるのか家の人に聞いてみる。

カブスカウト 電気や水またはガスが各家庭にどのようにして送られているかを調べ絵に書いて説明する。

※チャレンジ章 技術博士アと共通

ペンチャースカウト 再生可能エネルギーの定義について説明すること。

※エネルギー章 細目4と共通

STEP 2

協力する

ビーバースカウト ソーラークッカーを使用して料理を作ってみる。

カブスカウト 地球温暖化の原因について考え、温暖化対策として自分たちでできることを組または隊で話し合う。

ボーイスカウト 家庭を中心とした熱エネルギー（給湯・暖房など）についてその製造方法の概要と供給経路を知ること。

※エネルギー章 細目3と共通

STEP 3

実行する

ボーイスカウト 自宅または町で見られるエネルギーの浪費の実例10、及びエネルギー利用による汚染があれば、事例5つをあげ、それらをなくす提案をすること。

※エネルギー章 細目7と共通

ペンチャースカウト 再生可能エネルギーをテーマとしたプロジェクトを実施し、その内容を報告する。

※富士スカウト章 課目6のテーマとすることも可能

ローバースカウト ステップ1～3学習目標の順序で、持続可能なエネルギーの普及について地域社会を巻き込んだプロジェクトを実施し報告する。

※ 細目は一部を抜粋して紹介しています。詳しい情報は日本連盟 Web ページにて公開する「Earth Tribe 隊長ガイド」をご覧ください。

2021年度 スカウトの日

地球大好き! I Love the Earth.

日 程 9月20日(月・祝)
テ - マ 地球大好き! I Love the Earth.
活動場所 全国各地
報告期限 2021年10月27日(水)

→12月31日(金)まで延長

※安心して活動ができるようになってから取り組み、活動報告をお送りください。

後 援 文部科学省、厚生労働省、環境省
協 賛 一般財団法人セブン - イレブン記念財団



青森・むつ第2団



愛媛・松山第34団



大阪・高槻第7団



東京・町田第9団

今年も9月第3月曜日(敬老の日)を中心に、環境美化活動「スカウトの日」の活動を行うため、全国各団が、さまざまな活動内容を計画、実施されていたことと思います。しかし、この感染状況下で、思うような活動の準備ができず、活動の中止を判断する団もありました。

毎年、この活動を楽しみにしているスカウトが活動できるよう、日本連盟では、「スカウトの日」の報告期限を延長し、活動の機会を増やすことにしました。少しずつではありますが、日本連盟へ活動報告が届いています。ご協力ありがとうございます。

例年同様、環境保全や環境美化の活動に取り組む団が多く、特に、今だからできる活動として、団ではなく隊や組またはご家族で実

施する美化活動に取り組む報告が多くありました。

今年度の活動資材「SDGsのぼり旗」は、今年の「スカウトの日」の活動だけでなく、今後のスカウト活動で活用できるよう、ビーバー隊、カブ隊をモチーフにしたキャラクターを描いています。スカウト活動中にこのぼりを掲げて、SDGsの取り組みをPRしてください。

全国各地で実施された「スカウトの日」の活動報告は、日本連盟ホームページからご覧いただくことができます。今年度から、内容ごとに集約して活動内容をご覧いただけるようにしましたので、さまざまな活動を参考に、日ごろの活動や生活の中で自分たちにできることを考え、行動していきましょう。

2021年度活動資材 「SDGsのぼり旗」



事前に参加登録(活動資材希望)をした団には、活動資材として、本誌でも連載しているSDGsをテーマにした教材「SDGsのぼり旗」をお送りしました。

SDGsは2030年までに目標を達成することが掲げられております。スカウト活動が国際目標であるSDGsにどのように関連しているのか、皆で考えていきましょう。そして、少しずつでも自分にできることから始めましょう。



各団の活動報告については、日本連盟ホームページをご覧ください。

<https://www.scout.or.jp/member/scoutday-2021/>

Scouting Never Stops!

あなたの小さな行動で、仲間のスカウト活動を支援できます
— 12月は寄付月間(Giving December)

■ オンラインでの全国的な寄付活動の広がり

2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、対面でのイベント開催が困難な状況でしたが、寄付月間の公式イベントは過去最大の196件を記録しました。特に、オンラインでのキャンペーンが大幅に増加し、全国で広く「助け合おう」という気持ちの醸成に繋がっています。

このような中、ボーイスカウト活動では自発的な奉仕の精神を大切にしており、多くの青少年が奉仕活動として、積極的に「寄付」を行っています。「寄付」というと、募金のイメージが多いですが、不要なモノ（書き損じハガキや本、洋服など）を捨てるのではなく提供することで、これが換金されて寄付金として活用される方法もあります。これらは、「ともに進もう助成プログラム」によるひとり親家庭支援や、スカウトの国内外派遣支援に活用されます。この機会に、ぜひ寄付について考え、行動してみてください。

※ ボーイスカウト日本連盟は「公益財団法人」の認定を受けているため、寄付金は税制優遇の対象となります。



寄付月間 (Giving December) はNPO、大学、企業、行政などで寄付に係る主な関係者が幅広く集い、寄付が人々の幸せを生み出す社会をつくるために、12月1日から31日間、協働で行う全国的なキャンペーンです。

■ ボーイスカウトの仲間を支援する3つの寄付

1
もったいない
寄付

日本の子どもの7人に1人が、経済的な困窮を要因とした衣食住の余裕のなさに加えて“経験や体験の機会が乏しい”「相対的貧困」状態にあるといわれており、昨年来のコロナ禍により、相対的貧困状態の家庭がますます増えています。

日本連盟では、こうした貧困状態にある子どもたちがボーイスカウト運動に参加してさまざまな経験を得ることを支援するために、ひとり親家庭支援「ともに進もう助成プログラム」を展開しております。2020年度までの6年間で、延べ394人に助成を行いました。未使用や使用済みの切手、テレホンカード、プリペイドカード、ゲームソフト、貴金属等も財源になりますので、ぜひ日本連盟にお送りください。

<https://www.scout.or.jp/support/06/>

2
遺贈

「遺贈」とは、遺言を残しご自分の財産を特定の人や団体に分け与えることをいいます。受取人として法定相続ではなく、遺言書により一部または全ての財産の受取人として、公益財団法人ボーイスカウト日本連盟をご指定いただくことができます。

<https://www.scout.or.jp/support/03/>

3
創立100周年
記念事業募金

ボーイスカウト日本連盟は2022年に創立100周年を迎えます。これを契機に、これまで生み出してきた価値を再認識して、さらにスカウト運動を発展させていくため、「ボーイスカウト日本連盟創立100周年記念事業募金」を実施します。

使い道は2つです。

「未来の子どもたち基金」 「ともに進もう(ひとり親家庭等応援)助成プログラム」や海外遠征への助成に活用します。「デジタルミュージアム構築」 ボーイスカウト日本連盟100年の歴史的資料等を電子化して広く共有できるようにします。

企業向けや個人向けの金額設定があり、全国の加盟員への呼びかけはもちろん、広く社会に向けて協力を求めています。

今、そして未来のスカウトたちへ繋がる「寄付」です。詳しくは日本連盟 Web サイト内の特設ページをご覧ください。

https://www.scout.or.jp/member/100th_anniversary-bokin/



すすめよう！ 『任務中の支援』

スカウトや保護者にとって信頼できる指導者の育成は大切なことです。指導者の皆さんもそれぞれの役割を果たすために、自己研鑽のほか、指導者訓練（定型訓練・定型外訓練等）に参加されていることと思います。今号では、指導者育成のポイントとなる“任務中の支援”について隊指導者・団委員の任務に焦点をあて確認してみましょう。

■ 指導者を育てること

指導者は、その役割に応じた各種訓練への参加を勧められると思いますが、すぐに指導者として成長できるわけではありません。ウッドバッジ研修所や実修所などの定型訓練で学んだ知識・技能・心構えを踏まえて、団や隊の運営といった実務を経験し、少しずつ成長していきます。

指導者は、実務の中で起きた問題や直面した疑問について相談したり、支援を求めることができます。まずは自団の団委員長や同じ役務の指導者といった身近な方に相談してください。同じ活動地域内で活動する経験豊かな先輩指導者もよいのですが、身近な指導者とのコミュニケーションが問題解決の糸口になることが多いでしょう。また、支援を受けた指導者が別の仲間を支援するといったことも『任務中の支援』のあり方の一つです。

隊指導者の任命責任者は団委員長です。団委員長は各隊の運営や団会議などを通じて、隊指導者の訓練ニーズを見出し、きめ細やかな支援をする立場にあります。自団での支援のほか、コミッショナーによる支援も指導者を育てる大切な支援のあり方の一つです。



道心堅固の碑／『道心堅固の碑』は、2017年の山中野営場（山梨県）の閉場に伴い、那須野営場（栃木県）に移設されました。

■ 任務中の支援（インサービス・サポート）とは

スカウト運動における成人指導者の任命から退任までの流れとして、「成人のライフサイクル（右上図）」があります。その中で、成人（指導者）には適切な訓練と支援が提供されることが示されています。これは隊指導者だけではなく、本運動に関与する全ての成人を対象としたものです。特に、直接スカウトを指導する立場にある隊指導者は、一般的な社会常識のほか、本運動の理念や隊運営の方法とそれに付随する各種知識と技能を身につけ、保護者との関わり方や、各種組織の機能等を知ることが求められます。

また、団委員、各種コミッショナー、地区や県連盟役員においても、それぞれの役務に応じた「知識・技能・心構え」が求められます。

それは、組織から提供される各種訓練によって必要な訓練ニーズが満たされる場合がありますが、現場の状況やその人のおかれている環境等によって、画一的な訓練だけでは達成できない場合もあります。指導者育成を集合型の訓練のみにゆだねるのではなく、支援ニーズに周囲が対応することが効率的であり効果も高いと考えられています。『任務中の支援』は、訓練参加の支援にとどまらず、指導者の持つさまざまな不安や悩みに対する支援も含まれます。

このように、任務中にある成人が求めるニーズを、必要に応じて提供する『任務中の支援』の体制を構築し実施することこそ、指導者の育成に必要なのです。

清規三事
佐野常羽
実践躬行
精究教理
道心堅固

清規三事／「しんぎさんじ」（読み方については諸説あり）佐野常羽氏によって示された、指導者としての心構えを説いたもの。

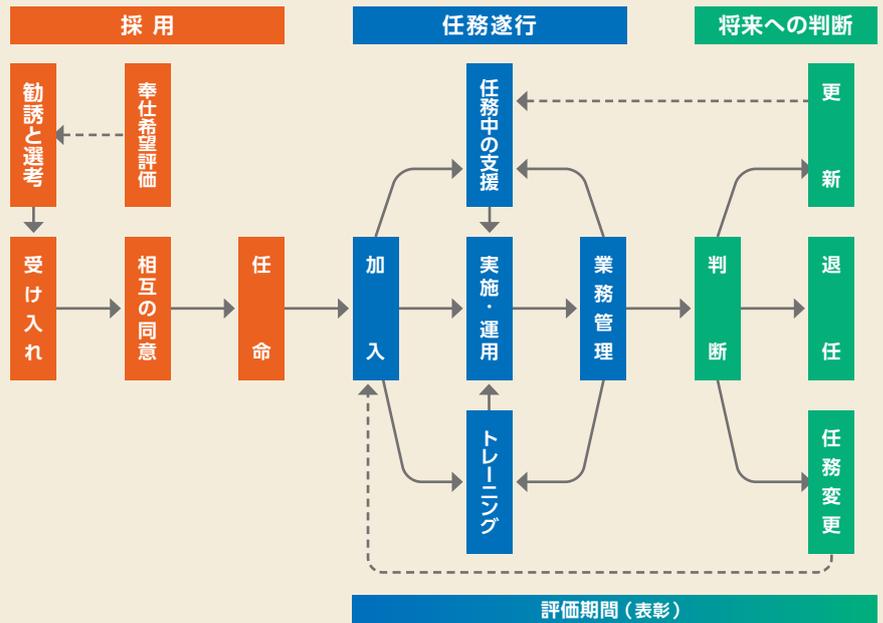
■ 隊指導者への任務中の支援

団委員会の任務には、隊指導者の選任と任命のほか、隊指導者の養成についても責任があります。そこで団委員会は一人ひとりの指導者の養成について道筋を考え、団として計画的に支援することが大切です。

団委員会は団会議や面談などにより、隊指導者の訓練ニーズを把握しながら、隊運営、プログラム推進、スカウトや保護者との関係、組織との連携など、隊指導者が任務を遂行していく中で抱える様々な問題の解決や不安・悩みの解消に対して支援を行います。

これらの対応は隊指導者を選任、任命した団委員会が中心となって行うこととなりますが、団での対応が難しい場合は各種コミッショナー、地区あるいは県連盟の組織（トレーニングチーム等を含む）や外部機関・団体など幅広く支援を求めることが重要です。

成人のライフサイクル



■ 団委員への任務中の支援

団委員として日常の任務を果たす中で、必要な任務の内容と実施の方法（進歩、指導者養成、健康安全、野営行事、広報、組織拡充、財政等々）、団運営の手法、隊指導者に関すること、連盟内組織の状況、基本原則等に関するスカウトニングの知識、社会や地域の状況、保護者や育成会に関する知識など、多岐にわたる訓練（研修）ニーズが考えられます。

団委員長は、団委員会の状況や当該団委員との面談などにより、その訓練ニーズを把握しながら、団運営、隊活動への支援、育成会や保護者との関係、組織との連携など、団委員がその任務を遂行していく中で抱える様々な問題の解決や不安・悩みの解消に対しても支援を行います。

これらの対応は団委員長が中心となって、団委員会として行うこととなりますが、団での対応が難しい場合は各種コミッショナー、

地区あるいは県連盟の組織（トレーニングチーム等を含む）や外部機関・団体など幅広く支援を求めることが重要です。

支援を受けられる場面

- 日常の活動中、団委員長や同じ役務経験者から
- 団委員会や団委員長との面談を通じて
- ラウンドテーブルなどの機会を通じて
- 地区や地域の諸会議の終了後に時間をもらって
- 定型（定型外）訓練に参加を決めたとき
- 定型（定型外）訓練参加における事前研修のとき
- 定型（定型外）訓練修了後の団委員長報告のとき
- 自身の任務に疑問や不安・悩みを生じたとき

※ 上記以外にも、さまざまな場面があると思います。まわりの人達との良好な関係の中、小さなことでも支援を求めてみましょう。

■ コミッショナーの協力と支援

地区や県連盟コミッショナーは、当該地域の団が進める指導者育成が円滑に実施されるよう、各種定型訓練の情報・トレーナーや支援者の紹介・定型外訓練の実施（ラウンド



テーブルの充実)など、多岐にわたる支援や訓練を実施します。また、それぞれの団における指導者の状況・スカウト教育の展開内容を把握し、団の事情に合った支援の方法を検討していきます。

これを進めるためには普段から団（団委員長）とのコミュニケーションを良好に保ちながら、コミッショナーが身近な存在であるよう心がけ、団からの支援の要請や相談に対して、迅速な対応ができるようにすることが大切です。

スカウト運動の展開の基盤が団であること

から、団の充実が地区や県連盟、そして日本のスカウト運動の充実につながることはいうまでもありません。したがって、団内の指導者（隊指導者・団委員）の役割は大きく、『任務中の支援』を取り入れて、継続して指導者を育成することが、団にとって重要な課題です。

100周年を迎える日本のボーイスカウト運動が、未来に向けて「新たな一歩」を踏み出すこの機会に、さらなる団の充実を目指して、指導者の育成・充実について団の皆さんと話し合ってみてください。

指導者養成委員会

■ 野外活動のための安心・安全講座

ご存知ですか？ 救急箱の新常識

～お互いを守るための提案～

- 1 救急箱に薬は入れません
- 2 傷口の消毒はしません
- 3 薬は各自で用意します

1. 救急箱に薬は入れません

救急箱といえば酔い止めや痛み止め、消毒液など、さまざまな薬が入っているイメージがあるかもしれませんが、しかし、『安全ハンドブック』（2021年4月発行）に記載があるとおり、指導者はスカウトに薬を与えないことになっています。ですから、スカウト活動用の救急箱に薬を入れておくことは間違いのもとになります。では、団や隊で用意しておく救急用品には、どんなものがあるのか？ 持ち歩ける程度の内容をリストアップしてみます。

2. 傷口の消毒はしません

消毒は皮膚の細胞を傷つけてしまうため、今は行わないのが一般的です。擦り傷や切り傷はきれいな流水でよく洗い、傷口が乾かないようラップを巻き、テープや包帯などで止めます（湿潤療法）。傷の治りが早く、跡も残りにくくなりますが、異物が残っていると化膿して逆効果になりますので、綿棒を使用するなどして、しっかり洗浄するよう心掛けてください。翌日、良くなっていなかったり、悪化している場合は医療機関の受診が推奨されます。また、傷が深い場合や汚染が著しい場合は、破傷風の危険性もあり、抗生物質の投与が必要になることもありますので、早急に医療機関を受診してください。

3. 薬は各自で用意します

救急箱には薬の用意がないことを、保護者会などであらかじめお知らせしましょう。必要な薬はご家庭で用意していただくため、活動場所や季節により用意すべき薬の情報を伝えます。下見や事前の調査で検討し、安全対策に盛り込み、持ち物として提示しましょう。ただし、初めて使う薬は思わぬ副作用が起こる可能性もあります。一度少し使ってみて、かぶれなどを起こさないかチェックしてから持参してもらうのがよいでしょう。

指導者はスカウトが持参した処方薬を、保護者の依頼に基づき「介助」すること（安全ハンドブック P149 参照）、はできますので、薬の携行が必要なスカウトとは、保護者も含めて事前によく話し合い、緊急時の対応等を確認しておくことが必要です。

救 急 箱	
救急用品	使用方法など
はさみ	持ちやすく、先が丸く尖っていないもの
トゲ抜き	トゲ抜きは本人が行う
ポイズンリムーバー	蜂に刺されたときに毒素を吸引する器具。先端に体液がつくので使用後は消毒綿で拭く。口をあてて毒素を吸い出しはけない
体温計	非接触型がよい。電池切れに注意
救急絆創膏	小さい傷に。大小あると便利
ラップ 15cm サイズ (またはドレッシング材各サイズ)	大きな擦り傷を乾かないようにする。火傷を保護する
滅菌ガーゼ	傷口を保護するため。各種サイズ個包装のものを推奨
サージカルテープ	ガーゼ、ラップを止める。紙テープよりかぶれにくく切りやすい
伸縮包帯・ネット包帯	ガーゼ、ラップを固定する、傷口を保護する
三角巾	患部の固定や保護に。使い方をしっかり学んでおく
ビニール手袋	感染を防ぐため、出血時の処置の際には必ず着用する
保冷剤・氷嚢・冷却シート	熱中症対策、打撲などに。ビニール袋に氷を入れて代用可
メモ帳、ペン類	救急処置は処置の記録を残すことが重要（いつ、どんな処置）

※ 年齢や活動内容により、怪我のタイプも違いますので、各隊や団の状況に合わせて種類や数量を検討してください。

※ 救急箱はいつも万全の備えが必要です。キャンプの前や年度初めには、必ずチェックしましょう。

次号につづく

「え！ いけないの？ お薬あるある NG 事例」
を掲載予定

「セーフ・フロム・ハーム」・安全委員会

スカウティングと信仰

—BVS、CSへの信仰奨励について—

ボーイスカウト、ベンチャースカウト年代では、スカウト自ら実践するスカウトタウン・サービスや各種講習で、信仰との接点をもつ機会があります。一方、ビーバースカウト、カブスカウト年代は指導者の導きが欠かせません。難しくとらえずに、自然の大きな力への気づきや日常生活の姿勢として、ビーバースカウト、カブスカウト年代のうちから信仰を身につけることの大切さが理解できるようなことを一緒に考えていきましょう。

信仰心を養うとは

信仰心を養うためには、自身の周りに感謝することから始めてみましょう。自然や生き物、親や兄妹、身の回りの人や物、仲間たちへの感謝……この感謝の心を実践に移せば、「やくそくとときまり」、「やくそくとさだめ」の実践そのものになります。

例えば、その日の天気感謝しましょう。朝になると太陽が昇って世の中が明るくなります。真冬でも段々と暖かくなってきますし、場所によっては小鳥のさえずりも聞こえ、「生きているな〜」なんて感じる場面があるかと思います。太陽の明るさに気がついた

活動プログラムへの展開方法

日本の「年中行事」にからめてプログラムを考えてみましょう。お正月、節分、ひなまつり、端午の節句(こどもの日)、母の日、父の日、七夕、お月見、敬老の日などの行事や、信仰や宗教から行うようになった行事である、初詣、お彼岸のお墓参り、お盆、花祭り、ハロウィン、クリスマス、七五三、教宗派特有の祭典など、日本には色々な年中行事があります。

ビーバー、カブ年代の子どもたちには、年中行事そのものが生活に密着しているので、活動プログラムに取り入れることで知らず知らずに「信仰心」が養われていくのではないのでしょうか？ この年代の子どもたちにとって、本質的な理解は難しいことだと思いますが、

スカウトは、夜の暗さの不便さにも気がつくでしょう。

周りの明るさは、心の明るさを知る気づきとなり、心の明るさは争いのない世界の明るさに気がつくきっかけになるでしょう。そんな世界を作っていたいただいた創造主に感謝するような気持ちを育ててあげることが大切です。

当たり前のこともかもしれませんが、そんな世の中に偶然に生を受け、その偶然に感謝する気持ちが信仰心を養うことにつながります。晴れた日は、太陽をながめて、スカウトに話してみてください。

先に挙げた年中行事をとおして、機会あるごとに話していただくと良いと思います。

年中行事の内容を説明するとき、この年代のスカウトに対するスカウトタウン・サービスになるのではないのでしょうか？ また、その行事で歌われる歌（「お正月」「うれしいひなまつり」など）がスカウトタウンのソングになると思います。

この年代に、信仰奨励を正面からもっていくのは難しいですが、皆さんがスカウトにお話しされる、そのことが信仰奨励につながっていくのではないかと思います。

感謝する心、手を合わせる気持ち、そんな事から始めてみましょう！

信仰奨励

Scouting Never Stops

信仰奨励委員会 八巻 知子

新型コロナウイルス感染症の終息が見えないまま一年延期となった東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が、賛否両論ある中、開催されました。参加した国内外のアスリートたちが語ったのは「感謝」の言葉ばかりでした。メダリストはもちろん、精一杯戦い抜いたアスリートから発せられたこの心に響く「感謝」の言葉に感動の連続で、心癒され、元氣や勇気を与えられて清々しい気持ちになり、開催できて本当によかったと思いました。

長く続くコロナ禍の中、自分はどれだけ感謝の気持ちをもって生活しているだろうか？ どれくらい感謝の言葉を発しながら生活しているだろうか？ と考えてしまいました。

今夏、富士スカウト章取得を目指して単独キャンプに挑戦している自団のスカウトを激励に訪問したとき、即座に「こんにちは、お疲れ様です。ありがとうございます」の言葉が返ってきたのです。10年前はビーバースカウトだった子が、カブ隊、ボーイ隊でスカウト活動と部活動を両立させながら頑張っている姿に上進し、富士スカウト章を目指すまでに……

着実に立派に成長している姿が見られ、こんなに嬉しいことはありません。指導者としての醍醐味ですね。

では、成人指導者である私たちの心の成長は続いているのでしょうか？

コロナ禍にあり、当たり前でできたことが今はできない、でも立ち止まらず、スカウト活動においても皆で新しいやり方を考え、一步一步前進しているではありませんか？

私の信じる宗教の教えの中に「人は常に進歩向上を心掛けねばならない」「去年より今年、今月より来月というように一歩ずつ氣長に自己を積み上げていかなければならない」とあります。

B-Pは「隊長の仕事は、少年の個々に何かを教え込むことなく、その心の中から引き出してやること、すなわち教育である」といわれています。

指導者自らが心に栄養を蓄え、Scouting Never Stops. 前へ進んでいきましょう。



④茨城・牛久第1団
／スカウトの日2020
で、「生き物探し」を行い、生き物マップを作りました。

⑥福島・郡山第3団
／スカウトの日2020
で、活動の拠点である神社境内の美化活動を行いました。



信仰奨励委員会

100周年記念事業

本誌7月号 (No.744) でお伝えした100周年記念事業の取り組みから、いくつかの事業に焦点をあてて、ご紹介します。

全国防災キャラバンと全国展開プロジェクト事業

創立100周年を記念して、全国のスカウトが参加できる事業を企画しています。本事業では、100周年を祝うだけでなく、これから先の100年に向けて私たちスカウトにできることを、2022年度の事業として各隊や団で実践していただきます。

■ 全国防災キャラバン

いつ起こるか分からない自然災害にどのように向き合い、どう行動すべきかといった「防災」に関する知識やスキルを、地域の子どもやその家族に学んでもらうためのワークショップを全国のイオンで展開する「全国防災キャラバン」。

2022年度は自然災害に対する認識を高めるだけでなく、「100周年」をキーワードに、ボーイスカウトをより詳しく紹介する内容として展開する予定です。



■ 全国展開プロジェクト-SDGsプロジェクト

「スカウトの日」で毎年支援いただいている一般財団法人セブンーイレブン記念財団と連携した事業を計画しています。本事業では、「スカウトの日」の活動として多く展開されている地域清掃活動をベースに、自然環境に大きな影響を与えるとされている「プラスチックごみ」問題を取り上げ、スカウトと地域の人たちがともにSDGsへ取り組む機会とします。「スカウトの日」(9月第3日曜)を主な実施時期とする予定です。



創立100周年記念事業募金

100周年記念事業の一環として、本年11月から「創立100周年記念事業募金」を実施します。この特別募金は、以下2事業のための寄付金を募ることを目的とし、2023年3月末まで展開する予定です。

詳細は、日本連盟ホームページなどで情報を発信していきます。趣意をご理解いただき、それぞれの事業にご協力いただきますようお願いいたします。

■ 未来の子どもたち基金

スカウト運動では、多くの青少年が学校や家庭では体験できない多様な経験を通じてさまざまな物事に取り組み、ただ知識を得るのではなく「行うことによって学ぶ」ことで、自分の得意なことや好きなことを見つけて力を伸ばしていくとともに、「こんなこともできるんだ」という成功体験と「次は頑張るぞ」という失敗体験の積み重ねによって、子どもたちが自らの未来を積極的に切り拓いていく力をつけていく機会を、100年にわたって提供し続けてきました。

創立100周年にあたり、より多くの青少年にこの良き体験を提供するために「未来の子どもたち基金」を設立します。

この基金は、一人でも多くの子どもたちがスカウト活動に参加できる機会を増やすことを目的にしており、経済的な理由で参加が困難な子

どもや、普段の活動から一歩踏み出して海外での社会貢献活動などに取り組もうとしている大学生年代のスカウトなどを支援していきます。

■ デジタルミュージアム設立

100周年を記念して、これまで収集してきた貴重な文献や資料、記念品などをデジタル化して展示する、「デジタルミュージアム」を設立します。「デジタルミュージアム」は、国内外から気軽にオンラインでスカウト運動の歴史に触れることができる、情報センターの中核になります。



創立100周年記念史の編纂

日本連盟では、これまでに『日本ボーイスカウト運動史(50年史)』と、これを継いだ『運動史Ⅱ(80年史)』を発刊しました。現在、過去2回発行された運動史に続き、その後の20年間の出来事や組織変遷をまとめた『日本ボーイスカウト運動史Ⅲ』(100年史)を正史として編纂しています。

また、持ち運びできる読み物として、ボーイスカウト運動の創始から日本における100年のボーイスカウト運動史をまとめた『より良い世界の創造を目指して～日本ボーイスカウト運動100年史～(上)・(下)』を編纂しています。

上下2分冊の100年史は、イギリスでのボーイスカウト運動の創始が

ら、日本への伝来と広がり、戦後の再建から現代への100年間の通史として、より多くの方に読んでいただける物にしました。現在の指導者やローバースカウト、ご支援・ご協力いただいている関係者の方にこれまでの運動の歩みを正しく伝えることで、この運動のすばらしさを再認識するとともに、今後の発展に向けた教訓を見出してもらえらるものと思います。

今回編纂する3つの運動史は、いずれも完全予約販売品です。通常のエンタープライズの書籍販売とは異なり、予約以外の販売は行いませんので、予約忘れのないようご注意ください。

『日本ボーイスカウト運動史Ⅲ』

(略称: 運動史Ⅲ)

発行予定/2023(令和5)年秋季

『より良い世界の創造を目指して

～日本ボーイスカウト運動100年史～(上)・(下)』

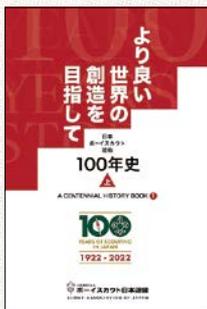
(略称: 100年史)

発行予定/[上巻]2022(令和4)年4月13日、[下巻]2023(令和5)年秋季

2022年4月13日発行予定

■ 『より良い世界の創造を目指して～日本ボーイスカウト運動100年史～(上)』

予約受付開始!!



100周年史上巻には、ボーイスカウト運動の世界的創始から日本への伝播、50周年度までの発展を読みやすく記述しました。編纂にあたり、既刊『日本ボーイスカウト運動史(50年史)』を骨格としましたが、取り上げる項目はできるだけ現在の、そして未来のスカウティングにとって参考になるよう心掛け、肉付けとする内容は改めて調査を行い、記述に加えました。

日本に伝来した当時の方々の「ボーイスカウト運動を世に広めよう」という情熱は、時代を越えて私たちの心にしかりと響くものがあります。史実ではありますが、創世記に

かかわる人々の情熱、本運動の奥深さと魅力、皇室との関わり、戦中戦後の苦難の道などについて、まるで大河ドラマを見ているようだとの感想も……。



100年史上巻の購入予約を受け付けます。残りの2つの予約については、詳細が決まり次第、改めて本誌および日本連盟ホームページ等でご案内する予定です。

予約販売方法

『より良い世界の創造を目指して ～日本ボーイスカウト運動100年史～上』

四六判/本文384ページ(予定)

- 編纂** 100周年記念史編纂委員会
- 予定価格** 1,500円(税込・送料別)
- 荷造送料** 全国一律(～2冊500円、～4冊800円、～10冊1,000円)※11冊を超える場合はご連絡します。
- 予約方法** 下のQRコードからフォームに入力するか、右の申し込み内容をメールするか、本紙に記入してそのままFAXしてください。
- 予約締切** 2022年2月末日/予約申込数量に基づき正規価格を決定後に振込先とともにご連絡しますので、3月末日までに振り込み願います。
- 発送時期** 2022年4月13日発行後、4月中旬から下旬に送付先住所へお送りします。

※記載いただいた個人情報は、本件販売以外には使用しません。
※予約に関する詳細は、日本連盟ホームページをご確認ください。

<https://www.scout.or.jp/member/centennial-history-books/>



1	書籍名	100年史
2	申込冊数	冊
3	お名前	
4	電話番号	
5	FAX	
6	メールアドレス	
7	送付先住所	

100周年記念事業実行委員会

ローカルホットライン Local Hot Line

団・地区・都道府県連盟だより

- ◻ … 団
- ⊠ … 地区
- … 都道府県連盟
- ◇ … その他

新潟

□ みんなでオリンピック聖火を迎えよう

西蒲原第7団 ボーイ隊隊長 佐藤 智也

『東京2020パラリンピック聖火フェスティバル 弥彦村採火式』が、活動母体である彌彦神社境内「みずほ館」にて行われ、まいぎり式火起こしの奉仕を行いました。

スカウトは、火起こし器を動かすのが難しい様子で、連続で回転させるタイミングをつかめずに苦戦していました。板や火切りギネの素材を換えて何度も挑戦し、自分たちに合う素材を見つけることが出来ました。何度も訓練を行う中でスカウトはコツをつかみ、火種を作ることができました。麻ひもをほぐし、燃えやすい脱脂綿を使い、火種から燃え広がり、ついには火を起こすことができました。

本番3か月前の5月から、何度となく訓練を積んできたスカウトの表情は自信に満ち溢れていましたが、やはり本番直前となると表情はこわばっていました。しかし、火起こし器を持った瞬間に緊張がほぐれたのか、訓練の時と同じ表情になり、落ち着いて火を起こしました。これはスカウトの努力の賜物です。

ボーイスカウトだから経験できた今回の奉仕は、仲間と助け合い、自ら考えてたどり着いたことで今回の成功に繋がったと思います。とても貴重な経験ができたスカウトは、自分に自信がもてたようなので、今後の活動に期待したいと思います。



山 □ □ 盲導犬について学びました

下関第11団 団委員長 湖南 千代美

盲導犬がハーネスを着けているときは、仕事中

- ①名前を呼ばない ②触らない
- ③食べ物をあげない ④目をじっと見ない

この4つの約束を守ります。なぜなら、盲導犬の気が散り、居場所が分からなくなると、ユーザーさんを安全に目的地まで連れて行くことができなくなるからです。

困っている人がいたときに、「こんにちは。何か困っていることはありませんか？」とすすんで声を掛け、お手伝いできるスカウトになってほしいです。

スカウトからの感想

手引き歩行のとき、どこまでの段差を教えてあげればよいか分からず戸惑いました。ユキちゃんの動きを見ていて本当にお母さんの言うこと理解して、しっかりお仕事をしてるなと感じました。

ハーネスをはずすと、私の家で飼ってる犬と同じように遊ぶんだと嬉しかったです。

困ってる人を見たら声を掛けられるようになりたいです。人の役に立てるよう、これからも色々な体験を通じて学んでいきたいと思っています。





奈良 □ みんなで、オリンピック 聖火を迎えよう

葛城第1団 団委員長 塚本 文哲

2021年4月11日、東京五輪の聖火リレーが奈良県内に到着し、葛城第1団の地元である葛城市を通過しました。聖火リレーのランナーを出迎えようと、カブスカウトが手作りの万国旗を飾り付け、「がんばろう！日本」と書いたプラカードを掲げて応援しました。

コロナ禍の中、沿道で距離を保って、声を出さずに聖火のバトンタッチを見守って、スカウトたちは「感動でどきどきした」「無事にオリンピックが開かれたらいいな」と感激をあらわしていました。

新潟 □ キャンパー人飯に挑戦！

新潟第5団 ポーイ隊隊長 鈴木 隆之

いつもだったらキャンプ場にはいるはずのゴールデンウィーク。

少しでもキャンプの感覚を味わえればと、スカウトたちにメスティンと挑戦状を配布し、キャンパー人飯に挑戦してもらいました。今回のテーマは「炊き込みご飯」。各自レシピを考えて、調理した完成品の写真を撮って送付してもらい、保護者のグループLINEで紹介して評価を受けました。

個性的な炊き込みご飯が出来上がり、保護者も大いに盛り上がりました。ス

カウトたちのアイデアの豊富さには目を見張るものがあります。

写真撮影の前に、何回か炊飯の練習をしてから本番に取り組んだスカウトもいれば、思うようにできなくて失敗したとっていたスカウトもいました。そんなスカウトは何か問題だったかを反省して、写真と共に報告してくれました。

テーマを変えて夏休み企画の第2弾も開催しており、続々と写真が集まっています。

Scouting Never Stops!



神奈川 ■ スカウトの手作り七夕飾りで五輪選手を応援

組織戦略委員会 中川 和之

神奈川連盟では、東京オリンピック・パラリンピックで来日した海外選手におもてなしの気持ちを伝えるため、スカウトたちが県内の事前キャンプ会場に飾る「七夕飾り」を製作しました。

県からの依頼に基づいて急きょ県内各団に案内。抽選申し込みから説明会、スカウトによる製作、完成まで1か月という短期間でしたが、全長170cmの立派な飾りを13の団が完成させました。「湘南ひらつか七夕まつり」で飾り作りをされている湘南七夕の会の方に指導を受け、各国の国旗の色や模様を和紙で作り上げたのですが、県の担当者も驚くほどの仕上がり。スカウトロープで吊しながら作るなど、作り方も各団で工夫されて



いたようです。

七夕飾りが置かれた神奈川県立スポーツセンターなどの会場へは、作ったスカウトも立ち入れません。このため、スカウトが作っている様子が見られる写真を使って、県が「Look up there!」というポスターを設置し、選手たちに紹介。これらの様子は、神奈川県ホームページで紹介されました。



スカウト運動への 財政面でのご支援 誠にありがとうございます！ ございます！



スカウト運動の支援には「人」「物」「財政」の3つの面があり、維持会員として財政面でのご支援をいただくことは、スカウト運動の維持や発展において大変重要な役割を担っています。

日本連盟では、青少年の健全育成のための事業を実施していますが、これらの事業を推進していくためには、皆さまからのご支援が不可欠です。

多くの個人・法人・団体の皆さまに維持会員としてご支援いただいておりますが、引き続きスカウト運動への財政面でのご支援とご協力をよろしく願っています。

皆さまからのご厚志は

- ジャンボリー、アグーナリー（障がいのあるスカウト等の大会）等の各種大会の開催
- 国際社会で活躍し、貢献できる人材育成のためのプログラム開発や国際交流事業の実施
- 野外教育活動の幅広い展開のための野営場や研修宿泊施設の整備
- ボランティア指導者の育成強化等に活用しています。

10,000円の内訳に置き換えると

（図は2020年度決算に基づく例）



マンスリーサポート（継続的支援）

月々1,000円から支援が可能です

クレジットカードによる毎月定額での寄付を導入して

います。郵便振替などでご支援いただいていた方も、クレジットカードでの寄付に切り替えが可能です。

※個人の寄付に限ります。※ご利用いただけるカードはVISA、MASTER、JCB、AMEX、DINERSです。

維持会員の方には

- 入会された方には会員章（襟章）をお贈りします（法人の場合は会員証）。

通常維持会員	年額 1万円より
特別維持会員	年額 10万円より
法人維持会員	年額 10万円より

- 継続して維持会費を納入いただいた方には、所定の年数に応じて「維持会員年功章（胸章）」をお贈りします（非加盟員の方はメダル）。

お申し込み・お問い合わせ

日本連盟ホームページをご確認ください。

<http://www.scout.or.jp/support/>

日本連盟事務局 維持会員担当

TEL: 03-6913-6262

Eメール: hello@scout.or.jp



維持会員（敬称略）

スカウト運動を財政面からご支援いただいている個人・法人会員の方々です。

ご支援ありがとうございます

2021年 7～8月 度

【北海道】

- 三浦 源彦
- 吉田 秀継
- 北市場 尚延
- 経森 正彦
- 櫻田 正文
- 長岡 正彦
- 徳永 教彦
- 榎本 賢首
- 寺迫 公裕
- B S 北見 1
- B S 千歳 1
- B S 札幌 1
- BS旭川16育成会
- 北見BS育成会
- BS釧路地区協議会

【青森】

- 黒澤 憲一郎
- 高瀬 厚太郎
- 入間 正智
- 和田 有平
- 【岩手】
- 千田 庄寿
- 三浦 弘次
- 山崎 義勝
- 高橋 養生
- B S 釜石 2
- B S 水沢 3
- 諏訪 神三
- （株）元持
- （株）岩手銀行
- 日東自動車工業（株）
- 東北アルフレッサ（株）
- 菱和建設（株）

【宮城】

- 佐藤 元通
- 横澤 繁久
- 佐藤 善久
- 芳賀 文蔵
- 菅野 五郎
- 橋浦 寛
- 荒井 嘉光
- （株）ごんきや
- （株）シグマ
- 【秋田】
- 安田 孝司
- 清水 順義
- 木村 那幸
- 糸原 隆明
- 藤原 幸隆
- 小場 文隆
- 山本 高敬
- 熊谷 猛
- 中川 正夫

- 渡部 訓之
- （株）秋田フボタ
- （株）東光鉄工
- 【山形】
- 大沼 保義
- 佐藤 憲義
- （株）山形新聞社
- 山形放送（株）
- 【福島】
- 工藤 信行
- 佐久間 崇之
- 五十嵐 康善
- 村上 正人
- 西 元徹
- 【茨城】
- 三浦 善敬
- 青木 正志
- 久保 勝男
- 鈴木 博枝
- 平澤 正則
- 菅原 英幸
- 生田 元典
- 関彰 商事（株）
- 【栃木】
- 中臣 正範
- 新井 政一郎
- 源田 俊昭
- 鴨志田 博
- 石川 秀忠
- 白澤 嘉宏
- 立正佼正会鹿沼教会
- 【群馬】
- 新井 三知夫
- 國時 武
- 林 高行
- 久保田 順一
- 萩原 幸雄
- 【埼玉】
- 岡田 良一
- 渡辺 一修
- 藤倉 幸親
- 山崎 哲男
- 霜田 豊
- 亀井 貴
- 高橋 義雄
- 鈴木 泰二郎
- 松村 重夫
- 島田 英正
- 川島 誠一
- 堀江 和男
- 新石川 巖
- 石村 照

- 松平 義
- 坂本 裕
- 林田 俊介
- 樋渡 重
- 角尾 雅也
- 村山 至
- 安藤 政子
- 栗原 均
- 石山 貴宣
- 岩田 宏
- 田中 政司
- 男澤 望
- 高橋 健一
- 宇田川 充
- 諸橋 康二
- BS所沢1
- 山口 照
- 山口 仁司
- 岩田 二郎
- 吉見 文雄
- 生田 元典
- BSさいたま9育成会
- B S 行田 1
- B S 越谷 10
- BSさいたま212
- B S 狭山 2
- BSさいたま226育成会
- BSさいたま220
- 守光院 木村正幸
- （株）氷川福祉社新倉
- 毎日興業（株）
- （株）昭和製作所
- 【千葉】
- 鈴木 國夫
- 早坂 義夫
- 中川 義一
- 小川 信一
- 新行内 正巴
- 木村 政
- 立川 征彦
- 青木 勇
- 関口 陽市
- 星 淳一
- 香取 秀紀
- 谷崎 久志
- 田岡 邦子
- 山下 博行
- 佐藤 計廣

- 最寄 雄
- 片寄 俊彦
- 伊藤 知
- 荻野 茂彦
- 藤本 寛子
- 小高 さよ
- 山下 すみ江
- 白井 正治
- 高橋 雅彦
- 山本 勲
- 小林 恒行
- 榎間 隆之
- 中村 光伸
- 井上 美恵
- 佐藤 耕一
- 太田 大州
- 鈴木 町枝
- 佐藤 美和子
- 三塚 学
- B S 市原 1
- BS松戸8育成会
- （株）市川学園
- （株）新昭和
- 【神奈川】
- 仲川 勲
- 葉袋 豊夫
- 矢島 巖
- 若野 隆生
- 山田 豊
- 根岸 進一
- 水野 明
- 小畑 修平
- 渡部 公夫
- 原 康夫
- 内藤 優
- 大熊 重男
- 太田 利子
- 関村 俊三
- 木村 耕一
- 池田 真一
- 佐藤 忠行
- 福田 延
- 小野 康雄
- 作田 豊彦
- 小島 清
- 吉原 滋
- 高橋 弘一
- 松蔭 一夫
- 江成 義章
- 岡竹 直三
- 本間 俊三
- 伊藤 健平
- 合

- 太田 勉
- 藤本 欣司
- BS川崎46
- 久保井 基隆
- 石窪 章
- 相原 光高
- 守屋 広幸
- 小澤 寛樹
- 柳 敏明
- 京増 敏彦
- 小山 貴司
- 清水 裕
- 前川 裕
- 清水 文男
- 井村 俊雄
- 北條 賢一
- 竹内 和夫
- 中山 浩志
- 海野 和俊
- 原 清一郎
- 鈴木 真弘
- 木中 勇
- 梅原 隆二
- B S 横浜 131
- B S 横浜 43
- B S 横浜 65
- B S 横浜 74
- B S 川崎 53
- B S 横浜 34
- B S 伊勢原 1
- （株）古川工業
- ソーイン・ジャック
- 【山梨】
- 山岸 一芳
- 藤原 進
- 渡辺 努
- 小倉 恵一
- 新田 雅弘
- 榎本 亜樹
- 【東京】
- 平林 淳志
- 田尻 紀夫
- 今津 直記
- 原 俊子
- 堀 秀一
- 岡本 圭示
- 田辺 隆一郎
- 豊泉 喜一
- 津守 勝男
- 鈴木 眞人
- 荒井 俊雄
- 安西 美勝
- 船橋 真一郎
- 大橋 仁
- 安野 哲子
- 粕谷 弥太郎
- 倉持 和朗
- 奥村 勝利
- 塚原 欣一

- 中澤 征
- 高輪 真澄
- 岩波 幸市
- 古谷 真一郎
- 杉野 健一郎
- 北爪 太圭司
- 青木 弘子
- 守安 信介
- 増田 嘉一郎
- 清水 正充
- 久米 邦貞
- 岡村 奈奈
- 松下 康夫
- 松野 善守
- 浅野 正
- 天霧 智博
- 小島 明子
- 大久保 秀人
- 荒川 善彦
- 今井 達
- 浅野 麻利子
- 井上 正行
- 谷道 隆彦
- 安海 泰夫
- 将 将
- 栗山 欽行
- 稲垣 秀明
- 横田 武憲
- 大森 和潮
- 平本 勝哉
- 餘多分 正敏
- 平石 和男
- 久保田 康弘
- 岡田 勇次
- 黒野 達夫
- 狩野 隆一
- 神田 久二
- 齋藤 淳
- 指田 守昭
- 木村 高弘
- 萩原 謙
- 萩野 泰司
- 重信 千春
- 木村 良一
- 栗芝 八
- 松平 頼昌
- 奥本 秀夫
- 田村 美恵子
- 藤村 満
- 藤井 敏
- 茨田 尚
- 大坪 邦雄
- 今小 和彦
- 大村 郁夫
- 古川 久生

- 小澤 文世
- 久保田 温
- 小田 通精
- 菊池 悠機
- 熊坂 博幸
- 中田 敏彦
- 村越 昇
- 小菅 勇一
- 和正 正仁
- 宮下 裕
- 重信 昌史
- BS世田谷6回委員長
- 島崎 龍夫
- B S 大田 3
- B S 大田 6
- B S 大田 4
- B S 江戸川 1
- B S 台東 4
- B S 西東京 2
- B S 台東 2
- B S 足立 4
- B S 調布 9
- BS江戸川3育成会
- BS東京連盟
- 北多摩地区小平1
- さくさ地区カブクラブ
- 大多摩クラブ代表
- 山崎 常雄
- 華厳院 矢田誠海
- 湯島 満宮
- （株）吉田商店
- （株）立川井上商店
- （株）ジーティーエヌ
- （株）ルースール
- 渋谷 商工（株）
- （株）式典コスギ
- 理容 ひかる
- 【新潟】
- 黒田 玲
- 高橋 剛
- 遠藤 安一
- 金澤 理久夫
- 樋口 栄治
- 井上 守
- 井上 法英
- 西澤 哲司
- 三浦 伸一
- 藤塚 大造
- 岩井会計事務所
- 岩井和夫
- 尾崎 淳一
- 池 淳
- 杉山 剛
- 本間 清
- 高橋 周一
- 米山 信
- 平田 則行
- 五十嵐 睦雄

- 山口 明
- 宮崎 育子
- 吉田 至夫
- 小林 基
- （株）新潟総合学院
- 新潟県神社庁
- （株）弥彦神社
- （株）仁徳電機
- （株）仁徳新南病院
- 石本 金属（株）
- （株）七里商店
- （株）アートグラフィック新潟
- 麒麟山酒造（株）
- セコム上信越（株）
- 新潟総合警備保障（株）
- 星野 電気（株）
- （株）応用電業社
- （株）第一印刷所
- 新発田ガス（株）
- ナミックス（株）
- テック海発（株）
- （株）ブルボン
- 第一建設工業（株）
- （株）新潟フボタ
- BS東京連盟
- 石本 酒造（株）
- （株）新潟日报社
- （株）タカコシ
- 朝日酒造（株）
- 堀川建設（株）
- 中央ビルディング（株）
- 本間組
- 【富山】
- 橋本 峰子
- BS富山県連盟
- 川田ニッポン（株）
- 【石川】
- 改田 秀一
- 若杉 幸平
- 畑 勝三
- 大橋 友啓
- 水野 四郎
- 岡本 弘志
- 高村 昌克
- 矢敷 雄一
- 中西 祐一
- 桂 章（株）
- 【福井】
- 古市 謙三
- 籠 義則
- 西畑 光廣
- 植田 命
- 山縣 年博
- 矢村 賢司
- 羽木 秀樹
- 細川 志部
- 【長野】
- 金子 元昭
- 西田 不折

- 山崎 康生
- 林 一男
- 松本 捷幸
- 村田 富士雄
- 小川 賢一
- 藤川 育宏
- 矢口 育善
- 中島 志郎
- 出田 京子
- 武田 清孝
- B S 茅野 1
- B S 富士見 1
- （株）東郷堂
- 富士コムテック（株）
- 【岐阜】
- 太田 晃
- 小寺 兼勇
- 川田 基弘
- 八瀬 之彦
- 板津 敏彦
- 駒田 誠
- 三輪 常夫
- 安田 勝
- 鈴木 理
- 松下 智行
- 加藤 憲功
- 館 三浦 英夫
- 中畑 晃一
- 蒲生 健司
- 金生 佳弘
- 虫賀 友則
- 工藤 琢也
- 服部 正次
- 谷山 鉄信
- 廣瀬 重幸
- 勝野 雅和
- 岡枝 哲夫
- 松岡 弘道
- 佐々木 慶一
- 奥村 聡
- B S 岐阜 19
- B S 多治見 1
- B S 関 2
- （初）日本BS岐阜県
- 連盟育成会
- 中部事務機（株）
- 名鉄観光バス（株）
- 岐阜支店
- 山一商事（株）
- （株）ジー・サカイ
- 奥飛観光開発（株）
- （株）マルエイ
- 名鉄観光サービス（株）
- 岐阜支店
- アサヒ繊維工業（株）
- 【静岡】
- 大須賀 和美
- 田中 清司



新春誌上名刺交換のご案内

次号(1月号)の『スカウティング』に、新年恒例「新春 名刺交換」のページを設けます。お名前のほか、イラストやメッセージを添えることもできますので、全国のスカウト関係者に向けた年始のご挨拶として、年賀状代わりにぜひご利用ください。皆さまのお申し込みをお待ちしております。

■ 規格: 1口 24ミリ×62ミリ(横型)

例)

謹賀新年 今年もよろしく
ボーイスカウト□□□□連盟○○○地区

委員長 鈴木 一朗

〒167-0022 東京都杉並区下井草4丁目4番3号
tel 03-6913-6262 E-mail scouting@scout.or.jp

■ 掲載料: 1口 8,000円(消費税込)

■ 締切: 2021年11月24日(水) 必着

■ 原稿:

Eメール・FAX・郵送でお送りください。お申し込みは最大66口(1頁33口×2頁/見開き)まで承ります(書体の指定はご容赦ください)。

なお、自筆(毛筆書体など)原稿をそのまま掲載することやイラスト、ロゴ等も掲載可能です(カラー可)。ご希望の方は規格サイズデータの作成のうえ、ご送付ください。

■ 送金方法: 次のいずれかの方法でお送りください。

※郵便局または銀行が発行する受領証をもって領収書にかえさせていただきます。請求書や領収書が必要な場合はご連絡ください。

郵便振替

00130-1-56119 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

銀行振込

三菱UFJ銀行 春日町支店 普通預金 No.0383873

みずほ銀行 本郷支店 普通預金 No.2855005

※いずれも、口座名は「公益財団法人ボーイスカウト日本連盟」

現金書留

「名刺交換」と明記の上、日本連盟事務局『スカウティング』担当宛にご送付ください。

■ お申し込み・お問い合わせ先:

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟事務局『スカウティング』担当

〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3

TEL 03-6913-6262(代表) / FAX 03-6913-6263

Eメール scouting@scout.or.jp

2022
No.747

1

SCOUTING

次号予告 次号の『スカウティング』は、2022年1月1日発行

新春 これからの100年にむけて

いよいよ2022年は日本連盟創立100年!! 総裁、総長、理事長、日本連盟コミッションの年頭所感のほか、100周年に関する情報などを予定しています。

なんでも投稿先

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟事務局『スカウティング』投稿係

〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3

電話 03-6913-6262(代表) FAX 03-6913-6263 Eメール scouting@scout.or.jp

投稿規定 / 本誌では読者の皆さまからの投稿を常時受け付けています。投稿が掲載された方には、掲載誌と記念品をお送りしています。投稿は、文字数400字で写真3枚を目安にしてください。新聞掲載記事は、新聞名、掲載日を明記してください。なお、お送りいただいた写真や新聞記事は原則として返却しませんのでご了承ください。お送りいただいた投稿は、抜粋しての使用や一部を編集させていただく場合があり、また掲載できない場合もあります。あらかじめご了承ください。たくさんのお申し込みをお待ちしております。

日本連盟ホームページ <https://www.scout.or.jp>

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

『スカウティング』2021年11月号 No.746 令和3年11月1日発行(奇数月1日発行)

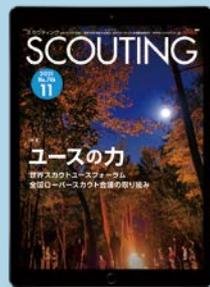
発行 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3 <https://www.scout.or.jp>

スカウティングは、全国のボーイスカウト指導者(隊指導者、団委員、スカウトクラブ構成員、地区・県連盟・日本連盟役員)に1冊お送りしています。加盟登録住所にお送りしますので、住所の誤り、変更がある場合は団での登録住所変更の手続きをお願いします。登録システムに伴い、①4月~8月に新規・追加登録申請が承認された場合:5月号から当該月号を同封にて送付(例:8月承認の場合は9月号に5月号、7月号を同封) ②9月~翌年3月に登録申請が承認された場合:11月号から当該月号を同封にて送付。9月以降の「追加登録」で、5月号~9月号をご希望の場合は、日本連盟事務局「スカウティング」担当にご相談ください。バックナンバーの在庫がある場合はお送りいたします。発行月の前月10日以降は、送付作業工程に含わないため、当該月号は次号に同封されます。なお本誌の購読料は、登録料に含まれています。上記以外の方も別途購読いただくことが可能です。詳しくはボーイスカウト日本連盟ホームページ <https://www.scout.or.jp> から、スカウティング誌のページをご覧ください。

©公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 2021 写真、イラスト、記事のコピー・複製・転載を希望される場合は、日本連盟事務局社会連携・広報担当(代表 TEL: 03-6913-6262)までご連絡ください。

SCOUTING

デジタル配信しています!



機関誌『スカウティング』のデジタル版(PDF)を、読者の皆さんを対象に配信しています。

デジタル版は、文字もそのままコピーできますので、さまざまな資料により簡単に引用できるほか、タブレット端末などに入れ、いつでも読むことができます。

ぜひご利用ください。

通常はIDとPASSを入力していただいておりますが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う活動への臨時措置としてパスワードを解除します。ぜひスカウトや保護者の皆さまにもご案内ください。自宅におけるスカウト活動などにもお役立ていただければ幸いです。



URL: <https://www.scout.or.jp/scoutingmagazine/issue/>

ID: scouting-magazine

PASS: sonaeyotuneni

今年からオンラインでも応募可能に！

第49回

全国ボーイスカウト 写真コンテスト作品募集

ボーイスカウト活動の基本の一つは「観察すること」です。写真撮影を通じて、さまざまな視点で観て、表現する楽しさを発信してみませんか？ チャレンジ章「写真博士」や技能章「写真章」につながるコンテストです。また、指導者はスカウトが仲間と一緒に活動を楽しんでいる様子などの活動記録もぜひ、応募してみませんか？ 2021年は昨年に続くコロナ禍でした。だからこそ新しく挑戦したことや工夫して行った活動、活動できる喜びを感じて楽しむスカウトの笑顔など、今年度ならではの様子も含め、魅力あふれる活動の写真をお待ちしております。

また、今年からは手軽に参加できる「オンライン応募」も導入し、スマートフォンなどで撮影したベストショットもエントリーが可能となります。ボーイスカウトの魅力を伝えるPR素材としてさまざまな場面で採用されるかもしれません。たくさんのご応募、お待ちしております。

■ 応募概要

テーマ ボーイスカウト ※少年少女の部は、このテーマに限定しません

- 応募部門**
- ① 少年少女の部 / 撮影者が中学生以下
 - ② 青年成人の部 / 撮影者が高校生以上
 - ③ オンライン投稿の部 / 撮影者の年齢は問わない

応募方法 応募部門①と② / 写真をプリントし、裏に応募用紙を貼って郵送してください。応募用紙は本記事の右下、または日本連盟 Web サイト・当該ページから取得可能です。※用紙に記載すべき項目がすべて記載されていれば、別の用紙（手書き）でも構いません。【プリントサイズ：サービス版以上 四つ切以下】

応募部門③ / Instagram を用います。応募したい写真を自身の Instagram アカウントに投稿してください。本文に「写真タイトル、コメント」そして、**#ボーイスカウトフォトコン**というハッシュタグを必ずつけてください（一次審査通過の方には DM でご連絡します）。※同じ作品（写真）を、プリントでの応募と新設の「オンライン投稿の部」両方への応募はご遠慮ください。

応募可能点数 撮影者ひとり5作品まで

応募期間 2021年11月1日（月）～2022年2月28日（月）
2月28日の当日消印有効
※オンライン投稿の部の場合は、2月28日の23時59分まで

発表 機関誌『スカウティング』2022年5月号および日本連盟 Web サイト・写真コンテストページに掲載予定

審査委員長 田沼 武能氏（写真家）

各賞 最優秀1点、優秀2～3点、入選 最大10点
※部門ごとに、審査いたします。



審査委員長
田沼 武能氏

■ 応募上の諸注意

- 応募は本人が撮影した作品に限ります。必ず、撮影者本人の年齢に応じた部門にご応募ください。
- 他者（保護者や指導者など）が撮影したと思われる作品が、スカウト名義で応募されていることが見受けられます。「少年少女の部」においては、審査対象とみなせない場合がありますので、コンテストの開催意義をご理解いただき、正しくご応募ください。
- 応募用紙への記載や発送についても、できる限り、撮影者本人が行ってください（隊活動として取り組んだ場合などは、指導者が取りまとめて発送しても構いません）。
- コメントの記載漏れが見受けられます。審査の参考になりますので、記載内容に不備がないか確認してからご応募ください。
- 入賞者には、写真データの提供を依頼しますので、応募用紙には連絡のつくメールアドレスを正しく（読みやすく）記載してください。なお、スカウト本人がメールアドレスをもたない場合などは、保護者等の連絡先を記載するなど、柔軟にご対応ください。
- 応募作品は、2021年1月以降に撮影した未発表のものが対象です。肖像権を有する人物および建築物などが写っている場合は、応募に際し、権利者（未成年の場合はその保護者）の了承を得てください。
- プリントでの応募の場合、応募作品は返却しません。
- 応募作品は、入賞発表のほか、日本連盟の各種印刷物等に使用することがあります。

応募に関する詳細情報は、日本連盟 Web サイト当該ページをご確認ください。



<https://www.scout.or.jp/member/49thphotocontest/>



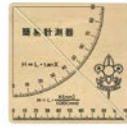
第48回
青年・成人の部 入選
『初めての米とぎ』
富澤 昇太
兵庫・西宮第21団
ローバースカウト

全国ボーイスカウト写真コンテスト		応募部門	少年少女の部・青年成人の部		
タイトル					
(フリガナ)	年齢	住所	〒	都道府県	市区郡
名前	歳				
連絡先	電話番号	メールアドレス			
作品についてのコメント					
ボーイスカウト加盟員は記入					
登録番号:	所属:	第	団	隊	役務

数量限定・特別限定アイテム付

「Be a Scout!」セット販売開始!

ボーイスカウト部門への入隊や上進者など向けに、2級上進に欠かせない基本訓練用具やハイキングなどを想定した物のセットを数量限定で販売します。入団・上進のタイミングはもちろん、ぜひこの機会にお得にご購入ください! なお、本商品は ONLINE SCOUT SHOP では送料無料です。



特別限定アイテム：ラケツジタグ



サイズ：115×65mm (裏面に名刺が入る仕様です)

セット内容：

スカウトギアメドバック22 (品番：83550)、シルバコンバスレンジャー (品番：82433)、結索訓練ロープ (6m) (品番：82230)、手旗 (品番：82406)、スカウトアルミ食器 (品番：81045)、スプーンセットはし付き (品番：81072)、マップメーター (品番：75053)、簡易計測器 (品番：82484)、座標定規 (品番：82462)

9点+特別限定アイテム

~~¥22,200-~~



¥19,800-

(税込)

100th Anniversary Collection & New Items!



BS マウスカバー ミズノ

高機能で人気のスポーツメーカーのミズノとのコラボレーションアイテムです。カラーはBS以上の制服とのコーディネートを意識しました。「そなえよつねに」で常に携帯しましょう。

品番：73052 (Mountain)、73053 (Sea)

品番：30601 税込価格：¥1,480-

素材：ポリエステル、ポリウレタン

サイズ：ワンサイズ (成人サイズ)

発売予定：11月上旬～中旬

※本品は感染 (侵入) を防ぐものではありません。咳やくしゃみをした際の飛沫の拡散をやわらげるための、吸エチケットとしてご使用ください。



100周年ブリキ缶

Mountain (左) Sea (右)

B-Pのイラストをモチーフにした100周年記念ブリキ缶です。お茶缶の薄型仕様になるので、さまざまな場面で小物入れとしてご利用いただけます。キャンプや活動時には、火口や小さな蚊取り線香など入れることもできます。

品番：73052 (Mountain)、73053 (Sea)

税込価格：¥880-

素材：鉄製 サイズ：φ89×26mm



礼装用金ボタン

現在販売している礼装用ボタンに関して、各商品の在庫終了とともに、現行のものから「金ボタン」へと順次切り替えていきます。

品番：30120 (セット)、30121 (大2個)、30122 (小3個)

税込価格：¥2,970- (セット)、¥550- (大)、¥600- (小)

サイズ：大 21mm 小 15mm

※現在販売しているプレザーについているボタンは順次変更となります。あらかじめご了承ください。

予告 シリアルナンバー入り100周年記念

Buck #110 Folding Hunter

長年多くの人々が愛用し、今もなおファンを魅了する米国ナイフメーカー「Buck」。その中でも定番の#110 Folding Hunterに100周年ロゴを刻印。限定100本でシリアルナンバーを入れたものを抽選方式で販売予定です。詳細情報は各販売協力店や、ホームページ、各種SNS、ONLINE SCOUT SHOPのメールマガジン等で今後お知らせしていきます。



SCOUT SHOP JAPAN

Official Shop of the Scout Association of Japan



各商品の発売情報や詳細は、各販売協力店や、ホームページ、各種SNS、ONLINE SCOUT SHOPのメールマガジンでお知らせしていきますので、ご確認ください。

SCOUTING 2021/11 746

スカウトイング
昭和33年12月15日 第3種郵便物認可
令和3年11月1日発行 (奇数月1日発行)

発行 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟
〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3
電話 03 (6913) 6262 (代)

定価 ¥200 (税込)
郵便振替 00130-1-66119
口座名義 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

